



つどい News

第25回福岡県子育て保育のつどい (2016/2/14) ～自分をすきになる力～

第4回、福岡県子育て保育のつどいの実行委員会が12月15日19時より福岡県保育センターにて開催されました。近藤直子先生の著書「1歳児のころ～道具を使いこなすことと世界の広がり～」から、1歳児の甘えの持つ積極的な意味について、受け持ちの子どもたちの姿と重ねて学びました。続いて、12月3日にふくふくプラザで開催された、近藤直子さんの講演「障がいのある子どもの笑顔が広がる子育てと療育」に参加された嶽村さんから、講演会の報告をして頂きました。また、「日本の学童—小学生の心こころのヒミツ—」から、執筆内容の概略の紹介もして頂きました。

分科会の報告について

第1分科会：講師の木下さんに一任しているので、後日、レジメを頂く

第2分科会：情報やネットワークをつくることをテーマにすすめている

第3分科会：先日岡田先生と懇談。6人×10グループとし、定員60名に

第4分科会：参加者が交流することで共有することができる場を作りたい

第5分科会：現在、申し込みが5名。定員は8組程度の予定

展示：ちいさいなかまの記事から「おすすめポスター」などを作成予定

それぞれの分科会での話し合いなどで、少しずつ形になってきています。すでに、開催のための懇談会をしたところもあり、懇談の様子などを報告して頂きました。また、今回はじめて開催する「みんなのしゃべり場」についても進行をしてくださる方がすでに決定しており、保問研の全国大会で行われている内容などについてお話し頂きました。定員を設けている分科会については、基本的に先着順となりますので、早めにつどいの申し込みをしてください。定員がある分科会は、分科会2(40名)、分科会3(60名)、分科会5(8組程度を予定)です。

講演内容について

- ①著書に書かれている息子さんの話についても講演でも話をしたい
 - ②子どもの事が好きになれる関わり方、気づきのポイントなど、実践を紹介しながら話したい
 - ③参加者が保育者・保護者が同じくらいになると思われるので、お互いに伝わらないことへの不安の解消の仕方などを実践を紹介して話したい
 - ④新聞の連載がとてもいいので、先生にお任せしてもいいのではないかな
 - ⑤運動の観点からも話をしてほしい
- などの要望が出されました。近藤先生にお伝えしたいと思います。

保育について

今回も、託児グループ「ひまわり」と県マイスターに依頼、第5分科会参加者の託児もします。また、事務局で担当を決めて事前打ち合わせします。会場づくりは実行委員会の担当です。

組織について

参加目標500名にむけて、各園での取り組みについては、チラシが保護者に届いたばかりのところが多く、それぞれの園で ・玄関に著書を置く ・キャンペーンを行う ・学習部で学びを企画 ・一人一人に呼びかける ・合唱団のつながりで広める など具体的な取り組みが出されました。また、後援取得を活用し、公的機関を利用しての周知を図りたいと思います。

昼食について

会場周辺は購入できるお店や食事ができるお店が少ないので、昼食の持参を呼びかけてください。昼食は、保育会場および分科会会場、楽屋を開放します。

実行委員も募集しています。みんなで力を合わせてつどいを楽しもう！！

 次回の実行委員会 は 常任委員会との合同で
 2016年1月9日(土) 18時30分～ 保育センターです。

<p style="text-align: center;">福岡県子育て保育のつどい 実行委員会</p> <p style="text-align: center;">福岡県保育センター 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通5-1-26 アロー103号館 307号室 Tel:092-761-5234 Fax:092-781-1995</p>
--